

第2回休眠預金等活用審議会概要

※ 本概要は事務局により整理したもの
休眠預金等活用担当室

日時：平成29年6月2日（金）10:30～11:30

場所：中央合同庁舎8号館8階特別会議室

概要：

<議事1 基本方針策定に向けた主要論点についての意見交換>

意見交換を経た上での主な共通認識

- 個別の議論に入る前にまずは、休眠預金活用にあたって立ち返るべき「基本原則」を設定し効率的に意思決定を進める。
- 議論の早期の段階で、休眠預金活用の在り方（基本理念）について整理しておくべき。
- 「革新的手法」「イノベーション」等の用語定義を明確化し、共通認識を持つことが必要。
- 審議会の下に別途、ワーキング・グループを置いて、内容を詰める場を設けるべき。
- 評価の在り方はスキーム全体の設計に影響するので極めて重要。
- 抽象論と具体論、理念と実態の議論を並行的に進めて行く必要があり、ケーススタディを積み上げ、これを理念に反映させることが重要。
⇒ 小宮山会長から、専門委員に対して、「どのような手法で社会課題解決に取り組んでいるか」についての「ケーススタディ」の提出を依頼することとなった。
- ワークショップ形式でも議論を進めるべきではないか。

<議事2 ヒアリングの実施について>

- 7月12日（水）13:00～17:00、13日（木）13:00～17:00にヒアリングを実施すること、及び資料5別紙の団体・有識者リストより、分野のバランス等を踏まえ、小宮山会長に40程度選定することが一任された。